

3 職 員 （回答者数：186人）

(1) 子どもについて

権利と義務・責任

- ・教育現場（特に小、中学校）では子どもの権利が過剰に尊重されている場合があります。そのため、学校の秩序維持が困難となり、一般の子どもに迷惑がかかります。一般の子どもを守るためにも 特定の子どもの権利を制限する必要があると思います。

中学校における部活動は、教員以外の人（ボランティアの人等）が担当すべきです。そのための予算を組んでもらいたいと思います。（1年未満・男）

- ・子どもの権利は、とても大切だと思います。ただ、権利と、自由をはき違えている様に感じる時もあります。子どもの権利を守るには、まず、保ゴ者への対応も不可欠です。とても難しいのですが...
ただ保護者によって、子どもの権利が守られない場合には、その様な子どもを守る（保護する）ことが重要ですね。

権利と責任の大切さ(重さ)は同等です。（20年以上30年未満・女）

- ・権利と責任は セットで考えるべきです。

子どもたちにも その指導が必要です。

「権利」という言葉が表に出すぎのため、子どもは印象に残り、自分の都合のよいことが頭に残ってしまうことがけっこうあります。（10年以上20年未満・男）

子ども観

- ・子どもの言っていることを、例え大人が「それはわがままだ」とか「身勝手だ」と思っても、グッとがまんして聞いてあげることが自分らしさを出せる第一歩だと思います。なかなか難しいのですが...。書物の請け売りですが、「子どもは大人になるために過ごしているのではない。子どもは子ども時代を生きているのだ」という言葉がそのことを象徴しているのではないのでしょうか？大人のミニ版が子供ではないということですね。（1年以上5年未満・男）

- ・子供を頭からおさえないで、子供の意見・意志を良く聞いてあげる事が必要だと思う。（20年以上30年未満・女）

- ・今の子供達は 自分が大切にされている感じや「楽しい!」「好き!」というイキイキとした感じをあまり持てていないように感じます。大人の都合で生活の時間帯も夜に移り、与えられる物も多いですが規制されることも多く、子供が自分の生理的欲求や感情を自由に表現行動する機会が失われていると思います。大人は「子供の為」と思ってやっているでしょうが、子供が「自分が大事にされている」感じや「愛されている」実感を持たなければ、他人を思いやることも難しいと思います。成長の過程では「物わかりのいい大人」よりぶつかりながらも見捨てない 関係のしっかりした大人も必要だと思います。基本的な躰は必要ですが、必要以上に干渉せず子供を信頼して 失敗しても大丈夫な 自由に 行動できる場が 必要と思います。（不明・女）

- ・一番身近な親兄弟や施設や学校の職員に1人1人が大切にされていると感じることから周りに目を向けられるようになるのだと思います。自分を見てほしい認めてほしい気持ちが友だちや周り自分と自分を比べるようになり、競争したり何らかの形で人をけ落とそうとしたり、いじめようとしたり...そうやってどこかで何かで自分に自信のもてるもの(力であったり強く見せようとしたり)を見つけなければ自分を見失ってしまう...

一人一人のいいところを認められれば自分も嬉しいし人にも優しくなれる。いいところ、得意なもの、好きなことに気付けばもっと伸ばすことができる。

全員がいい子で勉強ができなくても、子どもは一人一人必ず何かもっているものだと思います。それに身近な大人が“気づいてあげる”こと、それが大切だと思います。(5年以上10年未満・女)

家庭のかかわり

- ・家庭での暖かさが不足している子供たちが多くいます。生活のゆとりがなく、子供に手がまわらなく、結果的に愛情があっても、子供に接することが少なくなり、子供が乱れていくことを多く見えています。まず、家庭という環境をしっかり守ることのできる川崎市、日本になれるように思っています。(20年以上30年未満・男)
- ・子どもが安心して暮らしていくためには、まず、家庭が安心できる場所であること、そして、学校などが、楽しんでいられる場所でなければいけないと思います。現在、いじめ、虐待など心理的にも本当に子どもの声(意見)が聞いているかどうか、また、その支援の体制についても、実際どうしているのかを、しっかり検証していくことが、これからの人権の保障をはかるためにも必要と考えます。(10年以上20年未満・女)

救済

- ・子どもが苦しんでいる時(特に父母からのぎゃくたいを受けている時) 子どもは誰に訴えれば一番よいのでしょうか。教師が気づいても 父母は「しつけ」と言い、相談所での対応をまちがえると、子どもは板ばさみになってしまう。本当に子どもを助けてあげるためにはどうしたらよいのでしょうか。特に小さい子(低学年)の子への配慮が必要であると思います。(20年以上30年未満・女)

(2) おとなについて

親

- ・子どもは、親やまわりの大人を見て育ちます。先日も親が子どもの目の前で空缶を道に捨てている光景を見ました。それを見ている子どもは、悪い事と感じていないと思います。親は手本ですから。子どもは、学校等でこどもの権利について学ぶ事ができますが、親やまわりの大人は、意識のある人や関係団体の方以外知る事は無いと思います。まずは、大人への啓蒙啓発が必要だと思います。(不明・不明)
- ・まずは家庭にあり。親の愛情を充分うけて育てている子は心が安心して外にむかって生きていける強さがあるが 親から愛情を感じられずに育った子は心に傷をもっていて びくびく小さくなっている。学校にばかり責任をおしつけるのではなく 親が子供の為に真剣に向いあうことが第一番目に必要(10年以上20年未満・女)
- ・親(保護者)が、自分の子だけでなく子どもたちを守り育てる姿勢をもっともっていただけるよう 何らかのかたちで啓発をしていければと思います。学校・地域の方々が本当に真剣に子どもたちを大事に育てようとしていることも 保護者に伝わってほしいと願います。親・保護者が孤立し、核家族ななかでストレスをいっぱいかかえて、世の中に不安をいだきながら子育てしている気がします。(20年以上30年未満・女)
- ・親の子育ての方針が「自分の子だけ」に目がいつている。共に伸び共に育つの「共育」の精神が不足していると思われてならない。

個を伸ばすためには集団が伸びていなくてはならないのに個ばかりに教育がむかっていると思う。子育てをする親になる人の教育がとても必要。

保健所で開かれる母親学級のような親になる前の子育て学級があったらよいと思われる。

今の子どもたちは家庭と学校での顔が違うと思う。なぜなら家庭で親に気を使い親の気に入ることをしたら愛されるという条件付き愛情を学んでいると思われるから。(30年以上・女)

子どもにかかわるおとな

- ・「子どものため」と言いながら、実は子どもの側に立てず、自らの(大人の)価値感でものごとを判断する親や教師が、残念ながらいるという現実があるように思います。あらゆる機会を生かして積極的に啓蒙することが大切だと思います。

権利条例については浸透するどころか、早くもケイガイ化しているように感じられ、心配しています。

(30年以上・男)

- ・職員間の共通の認識がなく、バラバラである所が問題である。

職員全員に対しての研修が必要と思う。(20年以上30年未満・女)

おとな一般

- ・まずは、私たち大人が、“安心して自分らしく生き生きと暮らす”ことではないかと思います。夫婦が、職員同士が、地域の人々が…。仲良く、幸せに生きていけば、自然と子どもたちも生き生きと暮らせると思っています。子どもたちは敏感で、よく大人を見ています。子どもたちに“何かをしてあげよう”と言う前に、私たちが、生き生きと暮らして生きているのか、見直すことが、1番最初だと私は考えます。生き生きと暮らしていない人々が 子どもに何が必要かと考えても、それは、本当は子どもたちにとってプラスにははたらかないのだから…。(1年以上5年未満・男)
- ・理屈も大事であると思うが、子どもは大人の姿勢を見て育ちます。子どもがいけないことをすれば、しっかりと叱れる大人にまず、大人になることが大事なことだと考えます。私も含め、勇気のもてる大人であることが大人の使命であると考えます。(不明・不明・不明)
- ・家や学校や地域などで“自分は認められている”と感じられるような雰囲気や大人が作る大切だと思います。“あなたたち子どもはとても大切なよ。”ということを大人がアピールすることで子供の心は安定し素直に自分を表現することができるようになると思います。(20年以上30年未満・女)

(3) 地域について

- ・学校を開放して、あるいは地域の中で、子どもがえらんで活動できる場が増えるといいと思います。家庭では、親とのふれあい、学校では、先生や友達とのふれあい、がありますが、地域の中でも見守ってくれたりアドバイスをしてくれる存在が、どの子どもにとってもあることが理想です。いろいろな人との関係の中で、見守られていること、受け入れてもらったり認めてもらったりして、自分の出し方やかわり方を学んでほしいです。活動場所があることというより、人的な支援が子どもが育つ上で大切になるのだろうと考えます。(20年以上30年未満・女)

(4) 施策について

学校

- ・学校や公園等の施設で、楽しく遊べるスペースの確保が必要であると考えます。遊びの中の活動スタイルは、個性を引き出しコミュニケーションをとる方法の一つであると考えからです。
また、やっていいことと悪いことの判断を小さいうちからきちんと教える必要があると思います。そして、そのためには、痛みを伴うことも必要かもしれません。失敗をして、ものごとを覚えていくものだと考えています。(1年以上5年未満・男)
- ・幼いうちは、遊びを通して(かかわり合いの中で)様々な能力を身につけると思います。
放課後の校庭で自由に遊べる空間を用意してあげることが一番の近道だと考えます。校庭を安心できる空間にする為の警備員配置など(ワクワクはちょっと違うようです)はいかがでしょうか。(10年以上20年未満・女)
- ・子どもが家庭で安心して暮らせるようにするために 学校 児童相談所がもっと密に連携がとれるような施策が必要だと思います。(1年以上5年未満・男)
- ・少人数授業を可能にするよう市の予算をやりくりする。子どもは、誰でも“わかりたい”“できるようにになりたい”“認めてもらいたい”と思っている。全ての教科とはいかなくても、せめて、母国語の国語と数学、英語くらいは1クラス20人以内の少人数授業を実施できるようにしてほしい。
自分がわかるようになり、自信をもつことができた子どもは、相手のことも認める。人権感覚の優れた子どもになると思う。実際にやってみると、子どもが変わり、目が輝く!!
でも、現実には、予算上の問題で一部の教科、一部の学年のみ。(10年以上20年未満・女)
- ・学校でいじめ等があったら部活動やもしくは学校そのものも簡単に変えることができる等、嫌なことがあったら容易に現状(環境)を変えられるしくみが必要だと思います。大人は後々のことを考えて打算的に我慢することもあります、子どもには「今」こそが大事で深刻なことなのだと思います。(1年以上5年未満・女)

福祉施設

- ・子どもの生活の場の中で、自分が自分らしくいられる居場所(家、学校、施設などを問わず)を確保することが大切!特に放課後は、家庭の都合などがあるので、わくわく、こ文だけでなく、学童保育など様々な居場所となる所を充実させるべきだと思う。(1年未満・男)
- ・児童相談所と学校の協力体制をとり、家庭に問題がある場合は、すぐ対応できるだけの児童相談所の人材や保ご施設を用意するなど子供のためにこれからも考えていってほしいと思います。(20年以上30年未満・女)

公園、遊び場

- ・地域に もっと子どもが楽しめる 施設が必要だと思う(子ども図書館 etc)(1年以上5年未満・女)
- ・自由に遊べる広い場所、(特に緑豊かな公園がほとんどないと思うので)公園を作ってほしいと思います。
遊べる場所がないため外で遊んでいないような気がします。
大人も子供も安心して利用できる公園を 学区ごとに作っていただきたいと思います。(30年以上・女)

居場所

- ・子ども夢パークが全市で1ヶ所というのは、ちょっと残念です。せめて各区に。子ども達が身近に感じる居場所づくりであってほしいですね。(30年以上・女)

その他

- ・子どもが家庭以外に、緊急避難が出来る場所が身近な所にある（例 こども文化センター） 絶対に必要です。（30年以上・男）
- ・子どもの成長の基盤となる家庭の安定がなければ 子どもが安心して暮らすことはできません。
家庭の安定のための精神的・経済的な支援や相談活動の一層の充実、地域コミュニティの育成のサポートを手厚くしていく手立てを望みます。（30年以上・男）

(5) その他

- ・家 学校 地域など 子どもにとって身近なところに大きな問題があるというより、国の政策や県・市の施策、文化的状況、おとな社会の緊張感、不安感、管理や監視の強化等が子どもの世界を大変きゅうくつなものにしていると思います。
自分らしく生きにくい、安心して試行錯誤できない、多様な考え方がタテマエでは認められているが実際はそうではない、否を否と叫ぶ風潮 等々 子どもにとっては とても 生きにくい社会であり時代であると思います。（30年以上・女）
- ・自己肯定が出来る子に育つように、自分に対し 周囲の人間に対する信頼感を育てあげたいと思うと 一番基盤となる親子関係を子育て支援と保育をうけおうのではなく 親が楽しく子育てできるように、例えば 女性の労働関係を整える（労働時間や看護休暇）とか 父親を家庭に戻すような企業のあり方など 又 親子関係をサポートしていく 心理職など きめ細かい部分が必要ではないかと思います。（30年以上・女）
- ・学校・地域と家庭・子どもをコーディネートする専門のスタッフが不可欠。（20年以上30年未満・男）
- ・子ども達に関わりうる機関相互の連携がとれる様にしていく必要を感じる。 保育園・幼稚園 小学校 中学校 たてのつながりすら ぶつぎれで橋渡しされていると思う。（20年以上30年未満・女）